

ハンドボール



(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 84

No. (16名用)

A	神奈川県	福島県	B
---	------	-----	---

25	13	8	17
種別サイン	スコア	時	種別サイン
身山利尚	7m TC		矢野英樹

大会名	第10回国民体育大会 主に清流国体							
平成24年	10月5日(金)	場所	下呂交流会館					
種別	成年	男	⑤	回戦	第1回戦	準決	決	リーグ

A	神奈川県	警告	退場	失点	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	栗山 雅倫				18	16	A
役員B	花岡 美智子						
役員C	中屋 聡 彩乃				得点		
役員D	久保 由 悠季				前半	後半	合計
1	佐原 朋香				-		1
2	カルリン アマツダ						
3	小山 直由						
4	小原 中かり						
5	酒巻 ちひろ				-	F	4
6	鈴木 理紗						
7	河野 裕奈				-		1
8	鎌岡 世奈				F	F	6
9	山下 真奈奈						
10	川村 杏奈				正	正	9
11	深田 彩加				-	F	4
12	日藤野 友佳子						
合計					12	13	25

B	福島県	警告	退場	失点	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	矢野 英樹				23	57	29
役員B	植田 久美子						
役員C	佐久間 恵美				得点		
役員D					前半	後半	合計
1	山根 エレ						
2	大河 由香				T	F	6
3	佐藤 友美					T	2
4	鈴木 里美						2
5	渡邊 美月				T		2
6	田村 由里						
7	井上 志穂里						1
8	大野 梨恵						
9	宗形 麻維						
10	佐藤 美咲						
11	上基野 友里				F		4
12	星 彩子						
合計					8	69	17

タイムキーパー 島田 龍成 スコアラー 古田 慎太郎

マッチメイカー 藤原 大 審判員 土公 裕子 審判員 梅木 信男

A					B				
背番	結果	得点	時	間	背番	結果	得点	時	間
		0	21	1	5		5	13	16
		1	50	2	5			4	25
9	W	1	50					5	07
8		1	3	31				5	40
9	S	4	03					6	19
		4	04	3	0	4		11	28
8		2	7	12				7	26
11		3	7	58				8	45
		8	31	4	2			9	13
7		4	9	16				10	59
10		5	9	42				11	45
		10	50	5	11			12	38
		14	28	6	11			13	31
		17	11	7	2			14	20
	T	18	16					15	13
8		6	18	40				16	40
10		9	19	27				17	13
		20	49	8	11			18	20
10		8	21	50				19	24
10		9	22	41				20	41
10		10	23	52				21	13
		23	58		T			22	20
8		11	27	27				23	24
11	W	25	20					24	27
		25	29	4				25	18
2		12	26	30				26	27
								27	23
								28	17
								29	01
								30	17

特記事項

ハンドボール

結果報告

No. 85

ぎふ清流国体ハンドボール競技

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日 (金)	試合記号	Ef	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
神奈川県			福島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	12	前半	8	17	
	13	後半	9		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名	福田 直行
-------	-------

福島県のスローオフで始まった試合は、福島県5番渡辺の得点を皮切りに果敢に攻めるも神奈川県も8番諸岡の速攻、サイドシュートで食い下がった。

福島県のキーパー山根の好守で神奈川県のみドルシュートを止めるも10分過ぎに神奈川県は早いパスワークでリズムに乗り逆転した。

福島県は、2番大河内、上遠野のロングシュートでリードしたが、神奈川県も10番川村のロングシュートで、連続4点を取りリード。

神奈川県は5-1のディフェンスを敷き福島県のリズムを崩し前半を12対8で神奈川県リードで終了した。

後半は、お互いに静かな立ち上がりであったが神奈川県のみドルシュートで点差を広げた。

15分過ぎに神奈川県は福島県の2番大河内にマンツーマンディフェンス、その為福島県のリズムも悪くなり足が止まったことによりミスも多くなり神奈川県のみドルシュートとなった。

しかし福島県は、ゲームを最後まであきらめずたたかっていた姿は立派であった。

特にこのゲームで両チームのゴールキーパーの好守が光った。